

令和3年度 学校自己評価（職員）

名前（ ）

【評価基準】4…十分達成(100%以上) 3…概ね達成(80～100%未満) 2…やや努力を要する(50～80%未満) 1…努力を要する(～50%未満)

校務の関係で評価しづらいものについては、「学校は」と文頭につけて読み替えて評価してください。

項目	No	評価項目	1学期				2学期							
			1学期平均	4	3	2	1	2学期平均	「4」	「3」	「2」	「1」	「0」	
教育目標や教育課程	1	機会をとらえて学校や学級経営の目標や諸指導の方針を生徒や保護者に理解させるように努めている。	2.7	1	7	5	0	2.9	1	0	12	2	0	0
	2	校務分掌に応じ、諸便りや通信等により各家庭へ生徒の様子や活動内容等の情報提供に努めている。	2.8	2	7	3	1	3.0	2	3	9	3	0	0
	3	ユニバーサルデザイン(特別支援教育に限らず、すべての生徒にとって参加しやすい生活環境をめざす)の視点をふまえた教科経営・学級・学年経営に努めている。	2.8	0	11	3	0	↑ 3.1	3	3	9	2	0	0
確かな学力の向上	4	教育の質の向上のための業務改善に、学校全体では定時退庁や整理整頓、個人では目標設定して取り組んでいるか。	2.5	2	5	5	2	↑ 2.8	4	1	10	5	0	0
	5	テストや検査の分析をふまえ、個人(や集団)の特性に応じた指示や指導法の工夫に努めている。	2.8	1	8	2	1	2.8	5	2	7	5	0	0
	6	家庭学習について、目標時間だけでなく具体的に方略や課題を示し、その見届けに取り組んでいる。	2.6	0	7	5	0	2.8	6	0	11	3	0	0
	7	「めあて」と「振り返り」、「課題」と「まとめ」が明確な授業づくりに努めている。(プリント作成や復習の場合は、間違えやすい問題を示し、できないものから取り組むなどの指示を出し、動機・意欲・方向付けができていれば良い。)	2.8	0	9	3	0	↑ 3.1	7	2	11	1	0	0
	8	授業の終末に、学習内容を活用する問を与え生徒が理解度を確認できる授業づくりに努めている。	2.6	1	5	5	0	2.6	8	0	8	6	0	0
	9	意図的にペアやグループで意見を交流して課題を解決していくような場を多く設定するように授業づくりをしているか。	2.7	0	8	4	0	2.6	9	1	8	4	1	0
	10	「学校楽しいーと」を学級・学年経営の充実に生かし、生徒の自己肯定感や所属感を高める取組が学年部で行われている。	2.5	2	4	6	1	2.3	10	1	3	9	1	0
	11	生徒一人ひとりに活躍の場を与えられるよう、行事や学習活動、係活動の創出・工夫・改善に努めている。	2.6	0	8	5	0	↑ 2.9	11	3	6	5	0	0
	12	生徒指導に係る様々な情報や対策が生徒指導部を中心に教員相互で共有・実施されている。	2.4	0	7	5	2	2.4	12	0	6	9	0	0
豊かな心	13	学級や学校に生じる差別や偏見、いじめの早期発見・対応に努めている。	2.8	1	7	4	0	2.9	13	1	11	2	0	0
	14	道徳の授業の充実、特に向上心や思いやりの項目についての指導の充実に学年部で取り組んでいる。	2.7	0	10	2	1	2.8	14	2	7	5	0	0
	15	生徒や保護者の相談に親身に対応することができる。	2.9	1	10	3	0	3.1	15	3	10	1	0	0
	16	師弟同行で清掃活動や行事準備に取り組むことができる。	3.1	4	7	3	0	3.1	16	3	10	1	0	0
	17	体力作りや体育的行事、部活動等を通して、体力・気力づくりの充実に図られている。	3.0	3	7	3	0	2.8	17	1	9	4	0	0
	18	学校全体でコロナ対応を含む保健指導や給食指導に取り組んでいる。	3.2	5	8	2	0	3.1	18	4	8	2	0	0
健やかな体	19	むし歯、視力低下、疾病等の検診や早期治療指導にそれぞれの立場で声かけをするなど、保健指導に協力できている。	3.1	4	6	3	0	↓ 2.7	19	2	6	6	0	0
	20	定例の安全点検により安全な環境整備に努めるとともに、適時的確な安全指導に努めている。	2.8	1	9	4	0	2.9	20	2	9	4	0	0
	21	就寝時間や学習時間、テレビの視聴時間などの生活リズムを整える指導が行えている。	2.8	2	7	4	0	↓ 2.5	21	0	7	7	0	0
	22	発達段階や進路選択の時機に応じた進路指導に計画的に取り組んだか。	2.8	2	7	4	0	2.9	22	1	10	3	0	0
	23	子育ての情報交換の場としてのPTA活動や学級PTAの内容を工夫している。	2.5	1	5	7	0	2.6	23	0	9	5	0	0
	24	諸指導において小中連携すべきところは取組がなされている。	2.3	1	3	8	1	2.4	24	0	6	7	1	0
	25	外部の人材や団体、機関を活用して郷土のよさについて生徒に気づかせたり、社会の捉え方に広い視野を持たせたりするよう教育活動を工夫している。	2.2	0	4	7	2	2.6	25	1	6	7	0	0
	26	服務規律の厳正確保を意識するとともに、自身の身上に応じた留意すべきことを決めて努力しているか。	3.3	6	9	1	0	3.3	26	6	9	1	0	0
	27	諸指導において小中連携(既習事項や引継内容)を意識して取り組むことができた。	2.7	3	3	7	0	2.6	27	2	5	5	1	0
	28	担当の校務において他教員と協働して取り組むことができた。	2.7	2	8	5	1	2.7	28	2	7	6	0	0

■「4」 ■「3」 ■「2」 ■「1」 ■「0」

- 10「学校楽しいーと」を学級・学年経営の充実に生かし、生徒の自己肯定感や所属感を高める取組が学年部で行われている。」の評価が2.3ポイントと低くなっている。「学校楽しいーと」の活用方法を検討する必要がある。
- 12「生徒指導に係る様々な情報や対策が生徒指導部を中心に教員相互で共有・実施されている。」が2.4ポイントと低い評価になっている。情報共有のために、生徒指導委員会の機能化を図る必要がある。
- 24「諸指導において小中連携すべきところは取組がなされている。」が2.4ポイントと低い評価である。コロナ禍での「できる小中連携を」工夫する必要がある。